

タシケント廿一日小ユルツスヨリ五月二十日附ヲ以テ少
佐フルセウルスキューリカウフマンヘノ普狀ニ支那勢ハ
四月中デワンニ在ル砲臺ヲ乘取リ天山ヲ越ヘカスガル國
ノタタスン并ニツルワン二府ヘ押入ンリト

同廿五日

プロエスチ廿三日ノ報ニ歩兵第十八「ヤウイション」ノ第二「ブ
リガトド」司令官少將「ユコフカラツ」ヨリ大惱河ヲ渡リ「ボ
シヤク」ノ高地ヲ乘取リタルヲ載テ四廿一日ノ夜第四「コ
ルプス」ノ司令官少將「チンメルマン」ノ眼前ニ於テ「リヤザン」
ノ聯隊并ニ「リヤシスク」ノ聯隊ヨリ各五小隊宛ヲ探リ出シ
小舟ニ駕シ敵地ヘ向ケ漕キ出セリ敵地ヘ先登シタル「リヤ
ザン」隊ハ敵ノ劇シキ彈丸ヲ忍ビ高地ヘ竄ケ乘リ土兵ヲ追

ヒ出セリ先登者ハ少尉「エルス」下等士官「ニコフ」等ナ
リ此時敵ノ騎兵ハ我兵ノ側面ヲ衝カントセシカ我兵「リヤ
シスク」聯隊ノ援兵ヲ得テ土兵ヲ追斥ケリ敵モ援兵ヲ得テ
朝七時再ヒ我ガ右翼ヲ襲ヒタレ「リヤシスク」隊ハ敵ノ大
砲二門并ニ騎兵ノ攻撃ヲ十二時迄能ク支ヘテ接戦セシガ
既ニ我ガ大砲一門着セシヨリ戦ノ形狀變化セシヲ以テ
敵ハ砲發ヲ止メ退ケリ少將「ユコフ」ノ報ニ曰ク我十小隊
ハ土ノ歩兵三千騎兵三百ニ抗抵シ其働キ實ニ神妙ナリト
又此二聯隊ノ指揮官大佐「シユルギン」同シヨル「コウニ」コフ
「デウ」シ「ユン」ノ參謀長「ミヘ」エフ并ニ中佐「アキン」ヒエフ大尉
「マル」チ「ニコ」中尉「エル」モ「ロフ」等ハ格別方ヲ竭シ功ヲ奏セシ
モノナリ此大功ヲ奏スルニハ不幸ニシテ若干ノ兵士ヲ損

セサルヲ得ザリシナリ則チ死者ニハ「リヤザン」隊ノ中尉
 リマリエフ同コルススキ「リヤザン」隊ノ中尉ワシリエフ
 兵卒四十一人傷者ニハ「リヤザン」隊ノ大尉エルステル「リヤ
 シスク」隊ノ大尉アトラシケウチ兵卒八十八人ナリ又中將
 ナンメルマンヨリブツシヤクノ戰報ニ次テ左件ヲ報シテ
 曰ク同氏ハ廿三日午後三時「ボロテン」ノ聯隊ヲ瀛船并ニ小
 舟ニ乗セ河ヲ渡リマチン府へ着セシニ土兵ハ悉ク府内ヲ
 逃ケ去リ戰ハスシテ乗取レリ府下人民并ニ僧侶等ハ十字
 形并ニ神像ヲ奉シテ魯兵ヲ迎へ魯語ニテ唱歌シ魯帝陛下
 ヲ祝シ土地ノ人民貴賤トナク皆麵包ト鹽トヲ供セリ「ボロ
 テン」隊ハ隊旗ヲ飄シ「ボーセツアリヤハラニ」魯ノ國歌
 ナ歌フテ
 入リ少將ニコフノ隊モ續テ當府ニ入レリブライロフト

マチンノ際ニハ馬車道ノ建築ヲ創メリ
 不加勒斯多廿三日夜二時只今當府へ着セシ報ニ魯兵ハ廿
 一日ノ夜終ニ多惱河ヲ越へ廿二日十二時迄合戰シ魯ノ步
 兵十小隊ハ土領へ陣ヲ布キ中尉エルステルハ第一ニ敵地
 へ先登シ魯ノ國旗ヲ立タリ此功ヲ賞スル爲メ魯帝ハ親カ
 ラ「シントゲオルギ」ノ勳章ヲ與へラレタリ
 ブライロフト廿三日ノ報ニ今朝十時ヨリ魯兵ハ大惱河ヲ越
 へマチンへ渡リ始メリマチン府へハ昨日既ニ狩人ヲ入レ
 戰ハスシテ乗取ルノ手筈ヲ成シ置シナリ尤モ土兵ハ過日
 ヌリマチン府ノ民家ヲ劫掠シテ退キタリ「ボロゲン」隊ハ本
 日午後三時瀛船并ニ小舟ニ乘リ河ヲ越へ「カサック」兵四十人
 ハ先ヲ爭テ敵地へ達セント欲シ沼池ヲ泳ギテ渡レリ「ボロ

ギン隊ノ司令官中將テンメルマンハマチン府ノ布加利人
民ニ能ク待遇セラレ府中ノ歡喜一ト方ナラズ土兵ハイサ
クチャヘ退キタリ

君士坦丁府廿三日公報ニ魯兵ハドブロシヨニ土兵ノ少ナ
キヲ窺ヒ多勢ヲ小船ニ乗セマチントイサクチャノ間ニ於
テ多惱河ヲ渡ル土兵之ニ抗抵シタルニ衆寡敵セズテ遂
ニ退ケリ故ニ不日大戦アルベシ

フロエスナ廿三日瀛船「コンスタンチン」號並ニ「ウラヂミル」
號ハ巡邏ノ爲メ再ビ疇德沙港ヲ開帆ス「コンスタンチン」號
ハアナトリノ海岸ニ起キ廿日ケレムベ岬ニ於テ土ノ商
船四艘ヲ打沈メ乗組人數ヲ陸地ヘ放テ西巴士多卜魯ヘ歸
港セリ「ウラヂミル」號ハ土ノ商船十六人乗リノ「アスタンバ

シリ」號ヲ曳キ昨廿二日疇德沙ヘ歸着セリ

ミハイル親王ヨリ廿四日ノ電報ニ曰クカルス城ヲ圍ム爲
メ砲寨ヲ築キ北部ノ臺場ヲ頻リニ砲撃ス一昨廿二日敵ハ
歩兵二大隊騎兵二大隊并ニ大砲隊ニテ城ヲ出ツ我騎兵迎
テ之ヲ撃ツ敵再ビ城中ヘ引退ケリ我兵死者一人傷者五人
敵兵ハ死傷甚タ多シ

ベルガラット廿四日プリンズ、ミランハ昨日フロエスナヨリ
歸府セリ

維納廿四日スレイマンパシヤノ兵ハアリパシヤノ兵ト合
シ勝ニ乘シ漸ニセチニエヘ近寄レリ

同廿六日

フロエスナ廿五日カフカズノ惣督ヨリ昨廿四日ノ電報ニ
五ノ六十五

六月十六日ゼチテールテルグカンフハセイデカン并ニダ
 リバ、ノ間ニ於テマクメットパシヤノ兵ヲ破ル此時敵兵能
 シ防戦シタレモ終ニ敗レ多クノ生口ヲ遺シマクメットパシ
 ヤモ戦没セリ我兵ノ死者九十四人傷者百十九人ナリ
 マツリ廿四日我兵カルス城ヲ圍ム甚ク堅固ニシテ現下大
 砲六十二門ヲ備ヘ内二十八門ヲ城ノ直下ニ備ヘリ
 不加勒斯多廿五日ノ風説ニ據レバ土兵ハイサンチャチ退キ又
 マ法シ河ニハ甲鉄艦一艘ヲ捨置キタリト云又土兵ハロム
 パラシカノ邊ニ於テ橋ヲ架セント用意スル由
 セチニ廿三日セタ河ノ左岸ニ於テハ七日以來ノ劇戦ニ未
 タ勝敗ナシ是迄土兵ノ損亡ハ大約三千人ヲ過キタリト
 君士坦丁府廿三日土國外務卿ハ本日電報ヲ以テ各國在派

出公使ヘ土兵再ヒ巴牙盾ヲ奪回シタル趣ヲ通セリスレイ
 マネバシヤハニクシチヨリ來リアリサイブパシヤバスタ
 トシヨリ來リダニロフグラットニ於テ連絡ヲナセリ

明治十年十二月廿八日
版權免許

編纂兼
出版人

靜岡縣士族

佐久間貞一

第三大區六小區
市ヶ谷甲良町三十三番地

定價拾六錢五厘

1-235

前注意

發賣所

活版印刷所

秀

英舍

東京彌左衛門町

木

平

讓

同小石川江戸町
同人社

馬

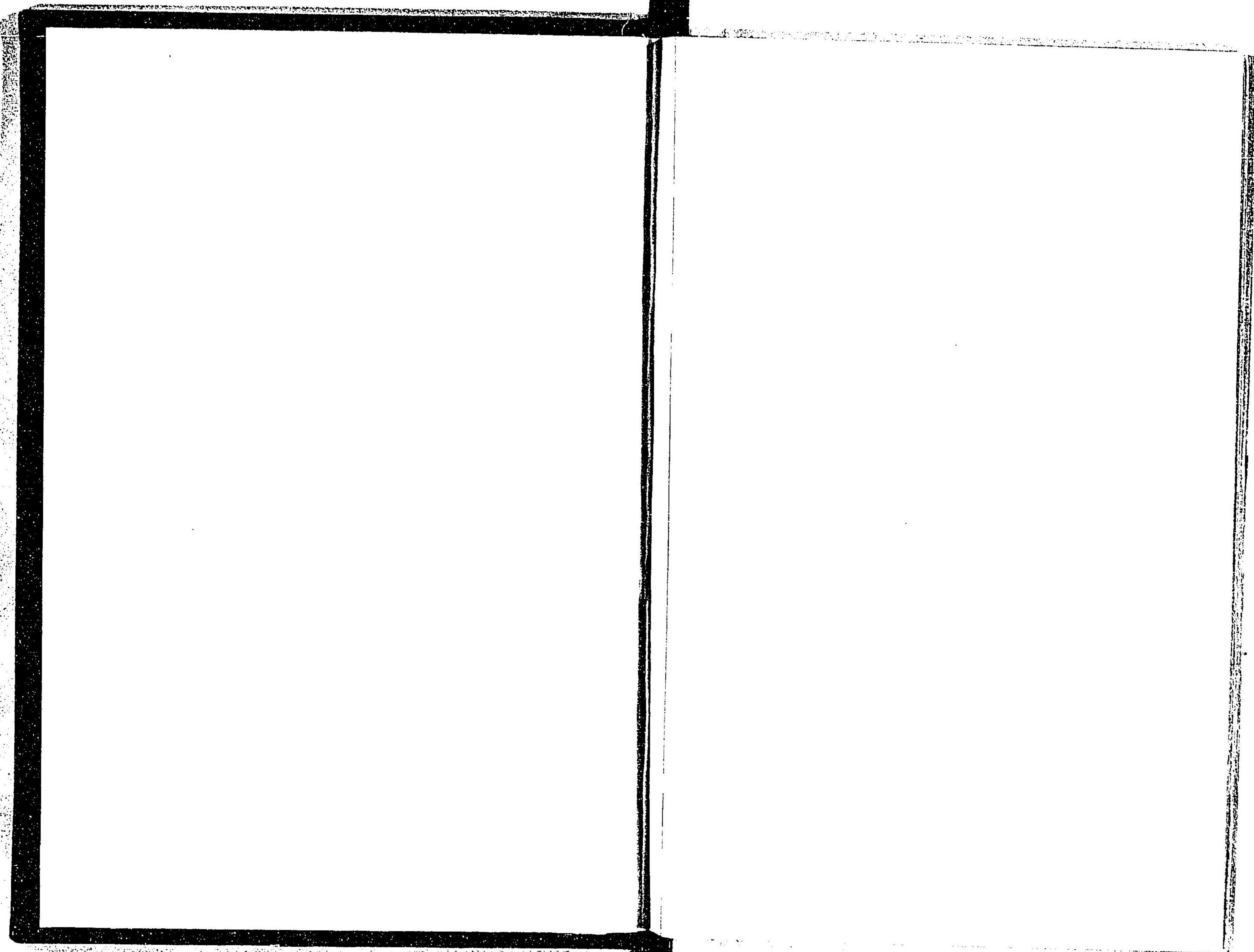
金屋仙藏

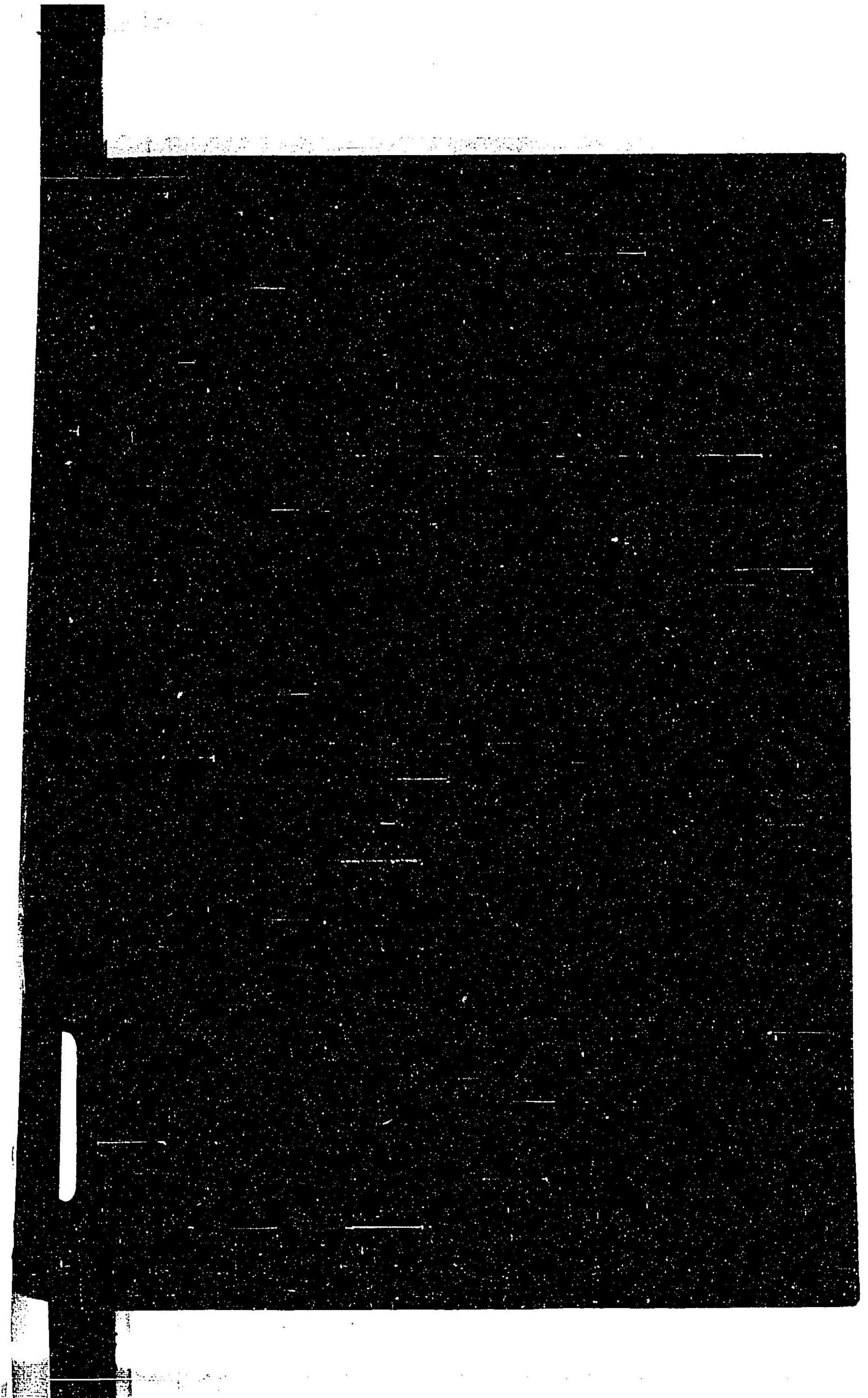
同通新石町

山

城屋佐兵衛

同日本橋通二丁目





67

79

003815-000-9

67-79

魯土戦争記

佐久間 貞一 / 編

M10

ACD-0579



